

就農への道

interview Vol.1

Iターン×就農

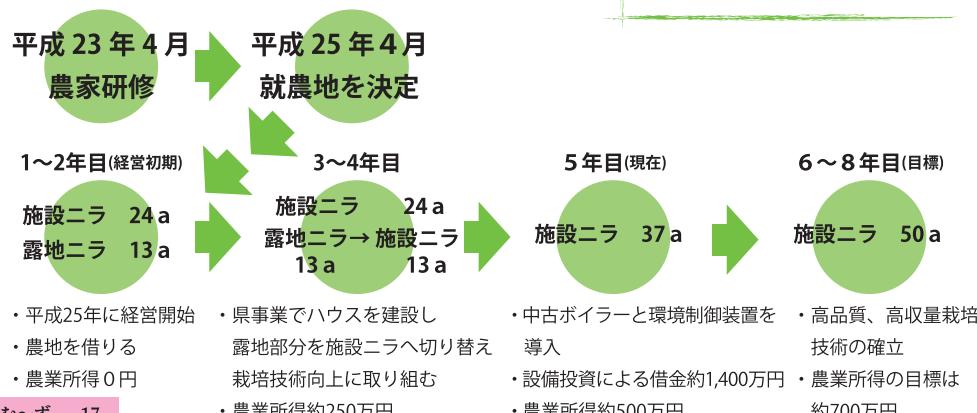
■先輩就農者の就農ストーリー

生まれは愛知県ですが、幼少期を高知県で過ごしました。農業に興味があり、県外での仕事を辞めて高知に帰ってきました。縁あって野市のニラ農家で研修を受けることができ、その研修中に県の方から独立についてアドバイスを受けながら就農準備を進めていきました。農地の確保では、市役所農林課で探していただきました。

独立してからは、研修農家さんとの繋がりで農家仲間もできたので安心して仕事をしています。独立当初は休みもなく無我夢中でしたが、今は週に一度休むようになりました。

楽しいだけでは農家はできません。大切なのは、やる気と覚悟だと、就農して実感しました。

■就農までのステップ



平野 誠一さん

就農するための5つのポイント

point 1 農業に対する情熱と意欲を持ちましょう

農業を始めようとする場合、「夢を現実のものにするぞ!」という強い情熱と意欲を持つことが最も大切で、欠かすことのできないものです。いろいろな情報を集め、しっかりと計画を練り、十分な準備をしましょう。

point 2 農業技術を習得しましょう

農業を始めるためには、就農する前に、自分が栽培したい作物の栽培管理等についての知識や技術について勉強しておくことが大事です。また、自分で經營管理をしていくことになりますので、帳簿を記帳し、確定申告するなど、経理等の知識も必要です。

技術を身につけるためには、「高知県立農業担い手育成センター」で学ぶ方法、先進農家で学ぶ方法、農業法人等で働きながら農業を学ぶ方法などさまざまなやり方があります。自分にあったやり方で、技術を習得しましょう。

point 3 農業経営の開始にはしっかりした資金計画が必要です

経営を開始するためには、収入が得られるまでの生活資金が必要です。必要な資金について、家族の有無や営農の形態により変わってくるため、具体的な金額を一概に言うことは難しいですが、ある程度の貯蓄は必要です。

- ・初期投資(農地、施設、機械の購入や借入など)
- ・運転資金(種苗や肥料農薬など)
- ・生活資金(基本的に出荷するまで農業収入はなし)

■就農を応援する支援制度

- 受け入れ農家で研修する(就農前1~2年)
 - ・新規就農推進事業
 - ・農業次世代人材投資事業「準備型」
- 親元で研修する(就農後1年間)
 - ・新規就農推進事業
 - ・農業次世代人材投資事業「経営開始型」
- 所得を補填する(就農後5年間)
 - ・農業次世代人材投資事業「経営開始型」
- 後継者の所得を補填する(就農後2年間)
 - ・農業後継者推進事業
- ハウスを建設する
 - ・園芸用ハウス整備事業

point 4 農地の確保

農地の売買、貸借には農業委員会の許可等が必要です。農地がすぐに見つかるとは限りませんので、早めに情報を集めていくことが重要です。また、必ずしも希望する条件と一致する農地を取得または借入できるものではないと考える方が現実的です。

point 5 家族の理解・協力も大事です

一人で農業を始めるのは大変です。そのため、家族の理解・協力が得られるよう、事前に十分な話し合いをしましょう。ご自身が病気で動けなくなっていても作物は待ってくれません。農業は体が資本です。



農業経験がなくても安心
実践力が身につく研修があります！

就農を目指す方への実践的な研修があります。「高知県立農業担い手育成センター」では、施設野菜や露地野菜などの栽培方法やトラクターなどの農業用機械の操作を指導してくれます。また、自分に合った品目を探することができます。

★研修期間は3ヵ月から24ヵ月
★1日あたりの費用 510円
※市の1/2補助あり
※研修は、施設での泊まり込みです

香南市で農業するなら
お電話ください！

----問い合わせ先----

農林課

☎ 0887-57-7517

fax 0887-57-7526

E-mail : nourin@city.kochi-konan.lg.jp

